上海レポート

令和4年12月号
Vol. 28

公益財団法人 大阪産業局上海代表処（大阪府上海事務所）
中国上海市延安西路2201 上海国際貿易中心408室 200336 Email osaka@ibo-sh.com.cn
TEL 86-21-6270-1901 FAX 86-21-6270-1351 http://osaka-sh.com.cn

20221205号	上海の弄堂(ロンタン)文化	秘 書 孫 芸
20221212号	急激なコロナ規制緩和	所 長 南浦秀史
20221219号	上海市内におけるコロナ感染症拡大について	所 長 南浦秀史
20221226号	上海科学技術館について	副所長 土佐憲弘

上海の弄堂(ロンタン)文化

上海とは言えば、高層ビルが建ち並ぶ大都市のイメージが強いです。今回は上海生まれ、上海育ちの私から上海独自である弄堂(ロンタン)について、皆さんに紹介したいと思います。

「弄堂」は、上海地方の方言で、上海独特の住宅形式である石庫門などの集合住宅の間や敷地内を走る路地、横丁を指すものです。単なる通路としてだけでなく，さまざまな上海の人々の日常生活や交流、遊びの場などとしても機能していました。かつての上海人の生活と切り離せないものでした。

「弄堂(ロンタン)なしには上海も上海人もあり得ない」という言葉があります。弄堂では、のり付けされた衣服が路地を跨ぐようにして干されていて、家々からは炒め物の音が聞こえ、晴れた日、特に寒風のない冬には路地の入口で老人たちがラタンチェアを持ち込んで座り、温かい日差しを浴びながら世間話に花を咲かせました。また、ラジオを聴きながらお茶を飲んだり、新聞を読んだりしました。

子どもたちは、ゴム飛び、輪回し、ビー玉、あや取りといった代表的な遊びを楽しんでいました。当時物が豊かでなかった私たちは想像力を発揮し、道にあるあらゆるものを利用して遊び道具にし、友情を得ました。

弄堂は上海の人々の生活を癒し、社会の活力を高めてくれた場所です。しかし、都市再開発の波の中で弄堂が破壊され、そこに高層マンションが建てられました。都市がどんなにモダン化しても、昔から変わらないのは近所の関心とふれあいを大事にする心。人と人との交流が減少して来たこの時代に「弄堂(ロンタン)」は心から暖かいモノを感じられた場所でした。

－－－

－－－

－－－